

Nishiaizu



9 | 広報にしあいづ
September. 2017 (平成 29 年) No.707

たいのしいねえー

おまつりたのしいねえ！

薄友喜町長 初登庁 P 2~

P 4 決意新たに二十歳の門出 平成 29 年度 町成人式

P 6 土砂災害から身を守るために

P 8 まちの話題

第一分団が優勝 喜多方支部消防操法大会、百歳賀寿、
男滝・女滝シャワーウォーク ほか

P 12 町からのお知らせ&ニュース

全区画一般住宅建築可！さゆりが丘分譲地 ほか

伊藤勝前町長らが退任

8年間、
お疲れ様でした。



平成21年8月に町長に就任し、2期8年間、町政を執行してきた伊藤勝前町長の退任式が8月4日、町役場で行われました。また、同日付で退任された伊藤要一郎前副町長と新井田大前教育長の退任式も併せて行われました。式では、はじめに新田新也 参事兼総務課長が退任される

3人に御礼の言葉を述べ、続いて伊藤前町長、伊藤前副町長、新井田前教育長がそれぞれ退任のあいさつを述べました。

伊藤前町長は、昭和54年6月の町議会議員初当選から町政に携わり、平成21年8月に町長となつてからは、「みんなの声が響くまちにしあいづ」を基本理念に据え、全ての町民が「住んでよかったと実感できるまちづくり」の実現に向け、新規施策を取り入れながら産業の振興や教育の充実、インフラ整備などに取り組まれました。

伊藤前副町長は、昭和57年8月に町役場に奉職以来、町職員として32年余勤められ、この間、企画調整課長や参事兼総務課長などを歴任されました。平成27年4月に副町長に就任されてからは、町長の補佐役として、町勢伸展のため尽くされました。

新井田前教育長は、平成26年4月の就任以来、本町の重点目標である「教育の振興と人材育成」に向け、学校教育



新井田大 前教育長



伊藤要一郎 前副町長

の充実や生涯学習、スポーツ、芸術文化などの充実・発展に尽くされました。

退任式に引き続き見送りが行われ、伊藤前町長、伊藤前副町長、新井田前教育長の3人は、贈られた花束を手に、役場に並んだ大勢の職員一人一人と握手を交わし、拍手の中、慣れ親しんだ役場庁舎を後にしました。



薄友喜町長初登庁

7月9日に行われた町長選挙で初当選した薄友喜町長が8月7日、町役場に初登庁しました。町役場では、町民の皆さんや町職員が薄町長を出迎え、薄町長は集まった皆さん一人一人と握手を交わしながら、拍手の中、晴れやかに登庁しました。

引き続き町役場大会議室で就任式が行われ、薄町長が町職員を前に就任のあいさつを述べました。あいさつの内容は次のとおりです(抜粋)。

まずは「町民第一」

町役場は、町民の皆さんの役に立つ場であればなりません。まずは町民の皆さんのために、何をすべきかよく考えて職務にあたってください。「町民第一」という町職員の原点に立ち返り、できない理由よりもやるための方策を考えるなど、態度・言動・行動を見直してください。

全国から注目される魅力ある町に

少子高齢化が進む中、地域

の活気を取り戻すために全国の市町村が競っています。若い世代が戻って来たいと思えるような、全国から注目されるくらい魅力ある町にするためには、思い切ったまちづくりが必要です。責任は私が取ります。スピード感を持って職務にあたり、新しい発想でどんどん企画・提案してください。共に頑張りましょう。

薄友喜町長略歴

昭和23年生まれ、西会津町新郷出身。喜多方商業高校(現喜多方桐桜高校)卒。昭和42年に町役場奉職、企画調整課長や参事兼総務課長などを歴任。平成20年4月からは副町長として町政執行に尽力(平成21年8月退任)。

にしあいづ福祉会理事長や、町ボランティア活動サポートセンター会長、NPO法人西会津国際芸術村理事などを歴任。

平成29年度
町成人式 挙行

平成29年度町成人式は、8月15日に西会津中学校多目的ホールで行われ、63人の新成人の皆さんが出席しました。本年度に成人を迎えるのは、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた皆さんです。

会場では、式に先立ち、新成人の幼少時代や近況の映像を収めた成人式の記念DVDが上映され、新成人の皆さんは、懐かしい映像に歓声を上げながら思い出を振り返っていました。

式では、はじめに薄町長が山崎雅朝さんに成人証書を、武藤さとみさんに記念品を贈り、「成人おめでとうございませす。町では、若い人が夢を実現できるようなまちづくりを進めていきます。ぜひ、自分の将来の活躍の場の選択肢のひとつに、西会津町も加えてください」と式辞を述べました。

続いて武藤道廣町議会議長



が祝辞を、町でレストランやポスティングなどの事業を営む若手経営者の笠間拓朗さんが自身の経験をもとに激励の言葉を送り、新成人の新たな門出を祝福しました。

式の最後には、築田智史さんが新成人を代表して誓いの言葉を述べ、「大人になったという自覚はまだありませんが、自分自身を見つめ直し、社会のために何ができるか考えなければならぬ」と思っています。次の世代を担う子どもたちに恥じることはないよう、これからの人生を力強く歩んでいきます」と成人としての決意を新たにしました。

式の後には、成人式実行委員会による記念行事として、成人を迎えた感想やこれからの抱負を発表する「1分間スピーチ」や、中学校時代の恩師からのビデオレターが紹介されました。

出席した皆さんは、仲間との久しぶりの再会を懐かしむとともに、成人として新たな一歩を踏み出すことを共に喜び合っていました。

成人式出席者

〔名簿より、敬称略〕

〔野沢地区〕▽1町内Ⅱ高波蓮、松本かずみ▽2町内Ⅱ早川慎太郎、若林行▽3町内Ⅱ山崎雅朝、渡部晋▽4町内Ⅱ大沼愛喜、小林琉平、橋谷田聡史、樋口洋祐▽5町内Ⅱ荒井直樹、白岩美優、高橋麻

美、田部みさき▽6町内Ⅱ鈴木完▽8町内Ⅱ瓜生咲季、佐藤汐里▽9町内Ⅰ船橋風音▽9町内2Ⅱ須藤柁、星菜々美▽下小屋Ⅱ根本樹理▽茨城県Ⅱ由利優樹▽芝草Ⅱ玉木陸▽堀越Ⅱ斎藤偉佐也、齋藤健成、渡部聖也▽安座Ⅱ安部真優華〔尾野本地区〕▽新潟県

斗、鈴木音杜、須藤はるか、秦優希子▽松尾Ⅱ伊藤美森、築田智史▽上小島Ⅱ薄上莉奈、齋藤彩花、山口圭太、渡部桃菜▽下小島Ⅱ成田真帆▽西林Ⅱ齋藤美紅▽西林東Ⅱ石川陸▽さゆりが丘Ⅱ三瓶千皓▽黒沢Ⅱ渡部寛哉、渡部美森〔群岡地区〕▽上野尻Ⅱ五十嵐旬、市橋卓磨、高津京也、

武藤悠太、渡部浩司▽下野尻Ⅱ五十嵐瞳、新田日南人▽宝川Ⅱ雅楽川弘平▽屋敷Ⅱ江川初芽〔新郷地区〕▽呼賀Ⅱ上野隆平▽樟山Ⅱ薄俊平、武藤さとみ▽橋屋Ⅱ斎藤真希▽戸中Ⅱ長谷川加奈、長谷川まい〔奥川地区〕▽塩Ⅱ伊藤洗人▽中町Ⅱ矢部穂乃香▽梨平Ⅱ齋藤友則▽小綱木Ⅱ荒海正樹



成人を迎えた「感想」や「これからの抱負」を発表しました。

1分間スピーチ



上野 隆平 さん (呼賀)

みんなと一緒に成人式を迎えられてうれしいです。みんなの思い出は今も宝物です。



秦 優希子 さん (萱本)

今までいろいろな人たちに支えてもらった分、何かに貢献できるように頑張っていきたいです。



玉木 陸 さん (芝草)

大学で夢に向かって勉強しています。地理の素晴らしいさを伝えられる教師になりたいです。



瓜生 咲季 さん (8町内)

看護師を目指して勉強に励んでいます。来年は国家試験！合格できるように頑張ります。



五十嵐 旬 さん (上野尻)

大学で勉強中です。変わった人も変わらない人もいますが、今日は昔話を楽しみたいと思います。



平成 29 年 7 月に発生した大雨による町道青坂芝倉線の土砂崩れ (青坂地内)

土砂災害から身を守るために

— 梅雨や台風の時期には十分な警戒を —

土砂崩れは、長雨や大雨によって地面に大量の水が染み込み、弱くなった斜面が崩れることで起こるため、そのほとんどが梅雨や台風の時期に発生します。

一般的には1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、土砂災害の危険性が高くなります。梅雨や秋雨前線、台風の時期には十分な警戒が必要です。

今月号では、土砂災害から身を守るために必要な情報をお知らせします。

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして生命や財産を奪ってしまいます。気象情報に注意し、前兆現象を確認した場合、早めに避難しましょう。

① かけ崩れ・山崩れ

雨水が染み込んで緩んだ斜面が崩れ落ちる現象です。突発的かつ急速に起こることが多いため、逃げ遅れて犠牲となる人が多い災害です。

こんな前兆現象に注意 崖から濁った水が流れる、斜面にひび割れや変形が起こる、崖から音がする、小石がパラパラ落ちてくる、など

② 地滑り

地盤の弱い土地に豪雨が降り、緩くなった斜面の一部が地下水や重力の影響を受けてゆっくり下方へ移動する現象です。

こんな前兆現象に注意 地面にひび割れができる、井戸や沢の水が濁る、崖や斜面から水が噴き出す、家や樹木が傾く、など

③ 土石流

長雨や集中豪雨などで、山腹や谷川の石や土砂が一気に下流へ押し流されます。勢いが強く、圧倒的なスピードで進行方向にあるものを次々と飲み込み、壊していきます。

こんな前兆現象に注意 山鳴りがする、雨が降り続いて

いるのに川の水が急に減り始める、川の水が濁る、川に流木が流れる、川から腐った土の匂いがする、など

※土砂災害は、雨が止んだ後に発生する場合もあります。注意しましょう。

町が出す避難のタイミングに関する3つの情報

① 避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者や、その支援者が避難を始めるタイミングです。通常の避難行動ができる人は、家族との連絡や、非常持ち出し品の用意をし、避難の準備を始めましょう。

② 避難勧告

人的被害の発生する危険性が高まった状況です。速やかに避難行動を取りましょう。

③ 避難指示(緊急)

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、ある

いは、すでに人的被害が発生した状況です。まだ避難していない人はただちに避難しましょう。すでに避難することが危険な場合は、近隣にある安全な建物や、屋内のより安全な場所に移動しましょう。

土砂災害警戒情報 大雨などにより土砂災害発生の危険性が高まったとき、県と気象庁が共同で発表します。この情報が出たら、前述の3つの情報が出ていなくても特に注意が必要です。町でも防災行政無線やケーブルテレビでお知らせします。

災害に備える

大規模な災害が発生した場合、公的な支援はなかなか届きません。こうした非常時に備え、しばらくの間生活できるだけの非常食や生活用品、燃料などを備蓄しておくことが大切です。

災害備蓄品の例 缶詰やレトルト食品、飲料水(1人1日3リットル目安)、卓上コンロや携帯コンロ、ロープ、バールなどの救助用品、衣類、毛布、ティッシュ、シート、ラップなどの生活用品。

非常持ち出し品の例 懐中電灯(予備の電池も準備)、携帯ラジオ、救急医薬品(常備薬は必ず準備)、非常食や飲料水、現金、貴重品、軍手、タオル、着替え、ライター、マッチ、ろうそく、など。

※災害時に備えて準備しておくものは、家族分を保管しておきましょう。また、乳幼児やお年寄りがいる場合は、ほ乳瓶、粉ミルク、紙おむつなども準備し、定期的な確認を忘れずに行いましょう。

家庭防災会議をしましょう

家族の防災意識を高めるために、家庭で防災会議を開きましょう。定期的な話し合いを積み重ねることで、いざというときに適切な行動が取れるようになります。



ようになります。

家族一人一人の役割を決めておく 日常の防災対策の役割と、災害発生時の役割を決めましょう。また、家族に高齢者や障がい者、乳幼児などがある場合は、面倒を見る人を決めておきましょう。

家族が離ればなれになった時の連絡方法を確認しておく 災害伝言ダイヤル「171」の使い方を確認しましょう。また、あらかじめ集合場所を決めておくのも有効です。

危険箇所を確認する 家の内外に危険なところがないか確認しましょう。危ない場所があったら、修理・補強し、合わせて家の中の安全な場所も確認しておきましょう。

非常持ち出し品を確認する 機器の作動状態や食べ物の賞味期限などをチェックし、必要なものがそろっているか確認しましょう。また、誰が何を持ち出すかをあらかじめ決めておきましょう。

問い合わせ先
町民税務課・町民生活係
☎ 45・2215



長寿を祝い賀寿贈呈式 佐藤勝與さんが満100歳に

佐藤勝與さんが7月25日に満100歳を迎えられ、さゆりの園で賀寿贈呈式が行われました。式では、県や町、町老人クラブ連合会から賀寿と記念品が贈られ、孫の佐藤愛斗くん、友愛ちゃんから花束が贈られました。式の最後には、親族を代表して佐藤勝一さんが「皆さんに支えられて100歳を迎えられました。これからもお世話になります」と謝辞を述べました。



あいづローイングスポーツ少年団 西中生がボート競技全国大会に出場

西会津中の長谷川寛奈さんと渡部愛美さんが「第37回全日本中学選手権競漕大会」への出場を決め、7月21日、町役場に出場報告に訪れました。2人は「あいづローイングスポーツ少年団」に所属し、毎週日曜日に荻野漕艇場で練習を重ねています。同大会は7月29日～30日に福井県で行われました。写真＝町から激励金を受け取る長谷川さん（右）と渡部さん



西会津小4年 齋藤裕樹くん わんぱく相撲全国大会に出場

西会津小の齋藤裕樹くんが「第33回わんぱく相撲全国大会」への出場を決め、7月26日、町役場に出場報告に訪れました。同大会は7月30日に両国国技館で開かれ、齋藤くんは惜しくも1回戦敗退となりましたが、全国から集まった選手たちに刺激を受け、新たな自分を見つけてきたようでした。写真＝町から激励金を受け取る齋藤くんと同行した祖父の三留儀行さん



弘法大師が9歳で越えたといわれる峠を散策 九才坂峠と目指岳トレッキング

7月29日、「西会津ぐるっと山ネットワーク」の主催で「九才坂峠と目指岳トレッキング」が開催されました。当日は新潟県側から入山し、西会津八峠のひとつである「九才坂峠」や、西会津十三名山のひとつである「目指岳」を散策し、安座地区から下山しました。参加した皆さんは、いにしへの峠に思いをはせながら、緑まぶしい西会津の山を満喫しました。



県消防協会喜多方支部消防操法大会 第1分団が優勝に輝く

第4回県消防協会喜多方支部消防操法大会が8月6日、喜多方市臨時ヘリポートで開かれ、町からは第1分団がポンプ車操法の部に、第4分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。この大会は、消防団員の技術や士気の向上を目的に隔年で開催されており、団員の皆さんが日ごろの訓練で培った消防機械器具の取り扱い操作の速さと正確さを競い合います。出場した選手の皆さんは、本年5月から西会津消防署やさゆり公園などで訓練に励み、大会に臨みました。

当日は、第1分団、第4分団ともに訓練の成果を発揮し、会場の雰囲気にも臆することなく機敏な動作で放水を披露しました。審査の結果、第1分団が町消防団として初めて、本大会のポンプ車操法の部で優勝の栄冠を手に入れました。

出場者紹介 [敬称略]

ポンプ車操法の部 (第1分団)

- 指揮者 田部 貴広 (5町内)
- 1番員 星 光輔 (4町内)
- 2番員 石川 恭史 (2町内)
- 3番員 西田 裕 (芝草)
- 4番員 横山 喜之 (5町内)
- 補助者 高橋 克幸 (堀越)

小型ポンプ操法の部 (第4分団)

- 指揮者 古川 友樹 (橋屋)
- 1番員 伊藤 徳裕 (呼賀)
- 2番員 石井 里志 (戸中)
- 3番員 長谷沼徳義 (小清水)
- 補助者 佐藤 敬 (柴崎)





ACO ONE GRAND - PRIX 西会津国際芸術村で予選会開催

渡辺俊美さんが発案したプロ・アマを問わないアコースティック弾き語り一本勝負のトーナメント「ACO ONE GRAND - PRIX」の予選会が7月30日、西会津国際芸術村で開かれました。当日は12人の出場者がギター1本で熱戦を繰り広げ、参加者による投票の結果、「るか」と「よねっち」さんが9月8日に行われる本戦への切符を手に入れました。



野沢・本町の夏の風物詩 「お能化さま」今年も盛大に

野沢・本町の夏の風物詩「お能化さま」が8月2日、遍照寺で開かれました。本町有志会の皆さんが焼きそばやたこ焼き、射的などの露店を出したほか、恒例のビンゴ大会を行い、境内は大勢の親子連れなどでにぎわいました。お能化さまは、300年以上前、自らの身をもって流行りの疫病を沈めた遍照寺の住職を供養するため、毎年8月2日の縁日に開かれています。



ミネラル野菜求める買い物客でにぎわう 道の駅でミネラル野菜夕市

にしあいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんが、8月11日と12日の午後3時から5時まで、道の駅にしあいづの情報提供施設でミネラル野菜夕市を開催しました。夕市では、トマトやキュウリ、トウモロコシなどのミネラル野菜はもちろん、お盆用の切り花などが販売され、売り場は帰省や観光で道の駅を訪れた皆さんでにぎわいました。



第51回全会津商工観光推進大会 会津地域への誘客に向け結集

8月8日、西会津中学校多目的ホールを会場に「第51回全会津商工観光推進大会」が開かれ、会津地域の商工会議所や商工会の関係者、市町村長のほか、国会議員、県議会議員などの皆さんが一堂に会し、震災・原発事故の影響やこれからの観光振興策についての認識を共有しました。当日は、薄町長が歓迎のあいさつを述べ、平田紀三男町商工会長が要望説明を行いました。



男滝・女滝シャワーウォーク 大人の沢遊びを満喫

7月30日、かつて弘法大師も修行をしたといわれる西会津の名瀑「男滝・女滝」を沢登りをして目指す「男滝・女滝シャワーウォーク」が、にしあいづ観光交流協会の主催で開催されました。

当日は、熊沢地区から沢を登り、時折川を泳ぎながら男滝・女滝を目指しました。参加した皆さんは、男滝で滝に打たれたり、雄大な女滝を写真に収めたりして楽しみ、さらには川で天然のウォーターライダーに興じるなどして「大人の沢遊び」を満喫しました。写真上=女滝を眺めながら一休み/左=男滝で滝に打たれる参加者/右=川に入ったまま全員で記念撮影

野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会 額に汗して楽しいひととき

恒例の「野沢ふるさと夏まつり盆踊り大会」は8月15日、野沢マイロード通りで開催されました。

当日は、盆踊りに先立ち、こども園の児童たちが「こゆりちゃん音頭」を、舞華囃の皆さんが「よさこい」を披露し、夏まつりに花を添えました。

盆踊りは午後7時30分に始まり、町内企業や団体をはじめ、帰省客など町外からも多くの皆さんが参加しました。野沢の夏の風物詩を一目見ようと集まった大勢の観客が見守る中、参加した皆さんは仮装や浴衣姿で夏まつりを盛り上げ、額に汗をにじませながら夏の夜のひとときを楽しんでいました。



運動の重要性とその効果

①生活習慣病の予防 ②摂食エネルギーが消費エネルギーを上回った状態が繰り返されることで脂肪が必要以上に蓄積し肥満となります。肥満が原因で、糖尿病や高血圧、脂質異常症、心臓病、脳卒中といった生活習慣病のリスクが高くなります。

②筋力や体機能の維持（介護予防） ①人間は、持っている



る機能を使わないと、驚くような早さでその機能が低下します。例えば、「歩く」という動作をしなくなると、歩くための筋肉が減少し、バランス能力、心肺機能が低下します。毎日歩くことで必要な筋肉や機能が維持されているの

【応援2】週いち筋力体操
応援事業 ①「ひとり運動するのには続かないけれど、みんなで集まったらできそう！」と週1回の体操会を希望中です！



西原輪サロンの体操会の様子

▶体操会参加者の声 ①「みんなと一緒に運動できます」「みんなといういろいろな話ができるのでいつも楽しい」「お互いのことが理解で

9月は健康増進月間 運動習慣を考えよう

1に運動、2に食事、しっかりと禁煙、最後にクスリ

高齢化や社会生活環境の急激な変化に伴い、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中といった生活習慣病になる人が増えています。生活習慣病は日常生活のあり方と深く関連しているため、国では、運動や食事、禁煙といった個人の生活習慣の改善を促進するため、9月1日から30日までの1カ月間を「健康増進普及月間」としています。認知症や寝たきりにならず、元気に生活できる「健康寿命」の延伸に向け、今の自分の健康習慣をもう一度見つめ直してみましよう。

【応援1】こゆりちゃんポイント手帳 ①朝のラジオ体操やウォーキング、ジョギング、といった毎日の運動習慣を記録できる手帳です。併せて、体重や血圧測定、1日3回の歯みがきなどの健康習慣を記録し提出すると、ポイント数に応じて記念品がもらえます。好評につきリピーター増加中です！



望まれる老人クラブやサロンなどの団体に、健康運動指導士、保健師などが出向き、無理なく運動を継続できるように支援します。現在、宝川・黒沢・西原・杉山で週1回の体操会を継続中です。6カ月ごとに行う体力測定の結果に応じた運動を続けていて、筋肉づくり以上の宝物づくりとなっています。

すこいな！むし歯のない子

7月19日、3歳児3人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は2人でした。

あまんと 上野 燦斗くん (井谷)

りと 安部 璃冬くん (安座)

【応援3】ケーブルテレビでの「棒体操」の放映とDVDの配布 ①1日2回、午前10時と午後3時にケーブルテレビで「棒体操」を放映中です。自分なりに続けてみませんか。また、仲間と集まって体操を定期的実施する場合は棒体操のDVDを無料で配布しています。お気軽にご相談ください。

全区画一般住宅建築可！さゆりが丘分譲地

町が分譲する住宅団地「さゆりが丘ニュータウン」では、これまで商業用地としていたG区画（商業区画）にも6月から一般住宅を建築できるようになりました。西会津ICから車で5分、周辺には総合運動公園「さゆり公園」や温泉保養施設「ロータスイン」があるほか、「西会津小・中学校」、「こゆりこども園」などへのアクセスも良く、子育て環境が充実しています。住宅団地の購入や、若者が住宅を新築・購入・改築などをする際には、町から助成を受けられる場合があります。詳しくは問い合わせください。

◆未分譲区画一覧

A 4区画	85.38 坪 (282.26㎡)	476.7 万円
A 6区画	85.38 坪 (282.27㎡)	476.7 万円
B 2区画	108.49 坪 (358.66㎡)	593.6 万円
C 2区画	108.47 坪 (358.59㎡)	593.5 万円
C 5区画	108.35 坪 (358.19㎡)	598.9 万円
D 4区画	135.63 坪 (448.39㎡)	757.4 万円
E 3区画	110.60 坪 (365.66㎡)	648.4 万円
G 1区画	119.41 坪 (394.78㎡)	729.4 万円
G 2区画	119.23 坪 (394.16㎡)	778.3 万円
G 4区画	139.28 坪 (460.45㎡)	831.3 万円



<問い合わせ先> 商工観光課・地域振興係 ☎ 45-2213

戸籍の窓口 [7月受付分]

まちの人口 (8月1日現在)

人口	6,630人	(前月比)	-12人
男	3,200人		-9人
女	3,430人		-3人
世帯	2,703 世帯		-4 世帯

多田	サダ子 (93)	修	母	7町内
鈴木	市兵衛 (90)	市喜	父	中野
齋藤	清一 (73)	光憲	父	尾登
佐藤	クラノ (93)	勘一	母	熊沢
五十嵐	マサノ (97)	藤吉	母	滝坂
杉本	喜代子 (88)	昌登	母	向原
嶋影	茂 (95)	悟	父	新町
結城	清 (89)	重孝	父	真ヶ沢
長谷川	勉 (83)	善文	父	梨平

お悔やみ申し上げます

黒澤	若子 (89)	宣夫	姉	2町内
----	---------	----	---	-----

有料広告欄 [詳細は広告主に問い合わせください]



文化や生活習慣の違いを学び、平和について考える

沖縄県大宜味村の児童生徒と交流

健康・長寿の取り組みがきっかけで平成6年から始まった沖縄県大宜味村児童生徒との交流事業は、今年で24年目を迎えました。今回の交流事業には、町から小学生10人、中学生5人が参加し、7月29日から3泊4日の日程で沖縄県大宜味村に赴き、同村の児童生徒と親睦を深めました。

いざ、沖縄県へ

出発式は29日の午前6時45分から行われ、西会津中学校2年の平野弘太さんが「沖縄の文化や食など、いろいろな話をホームステイ先で聞いてみたいですよ」と誓いの言葉を述べました。参加する児童生徒の皆さんは、保護者らが見送る中、交流への期待を胸に沖縄県へと向かいました。

午後5時過ぎに沖縄県大宜味村に到着すると、宮城功光村長や大宜味村の児童生徒、保護者の皆さんが歓迎してくれました。歓迎式・対面式では、西会津小学校6年の橋谷田元気さんが「沖縄の料理や



▲大宜味村の児童生徒と交流



▲沖縄のフルーツを味わいました



▲ひめゆりの塔を見学



▲別れの前に記念撮影

文化、また、平和への思いについて学んでいきたいです」とあいさつし、式の後は、会場に準備されたパイナップルやドラゴンフルーツ、シークワサーなどを味わいながら温かくホームステイ先に受け入れてもらい、緊張もいつしかほぐれたようでした。

ホームステイで文化の違いを実感

ホームステイ先では、海岸でのバーベキューや、ソーキそば、ゴーヤチャンプルーといった沖縄料理を味わいました。また、沖縄独特の方言に加え、シャワーだけで済ませることが多い入浴方法、大宜味村の児童生徒の皆さんが普段着で海に入ることを知り、文化の違いを感じていました。

沖縄でひと回り成長

最終日は、平和祈念公園やひめゆりの塔、ひめゆり平和祈念資料館を見学しました。日本で唯一の地上戦の映像や、ひめゆり学徒隊生存者の証言映像を真剣なまなざしで見つめながら、戦争の悲惨さと平和の大切さを感じていました。この交流事業を通して、児童生徒の皆さんは豊かな人間性を育み、異文化に対する理解、平和の大切さなどを学び、ひと回り成長したようでした。

町民パトントッチ

井上 慎人 さん [道目]

秦 研人 さん (8月号) からメッセージ
体に気を付けてください。

趣味は？ 音楽鑑賞

自分を一言で表現するとしたら？
マイペース

あなたのモットーは？
なぜ大抵なんとか成る

これからやってみたいことは？
友達と北海道へ旅行に行きたい

特技は？ 早食い

熱中していることは？ ゲーム

最近感動したことは？
買い物の会計の際、代金がちょうど1,000円だったこと

次の方を紹介してください
Y・Tさん (中町)

宝物は？ 『親の車を借りて通勤していたので、そろそろ自分の車が欲しい』
と思購入しました。中が広く、快適です』



聞いて！わたしの夢



3年 剣道部 部長
山内 奈菜 さん

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分が思い描く夢や目標を話してもらっています。
わたしの夢——

「私は、将来医療関係の仕事に就きたいと思っています。医療の仕事で一番大切なのは、患者さんを安心させてあげることだと考えていて、そのためには、笑顔が重要だと思います。笑顔には、人を元気にする力があります。これからの人生では、家族や職場、地域などで、何をすることも笑顔を絶やさず、人を幸せにすることができたらいいなと思っています」

努力していること——

「優しさは、巡り巡って最終的には自分に返ってくるということを信じ、誰も見ていないところでも気を配るようにしています」

未来の自分に一言——

「何事にもまずは挑戦！挑戦してからが始まりです」

町民ギャラリー



今回は、フォトクラブどんぐり
仲川 文夫 さんの作品です。

作品名『撮影のあれこれ』
作品介绍『何枚かの写真を並べてシャッターを切りました。前ピンになったり、後ピンになったり苦労しましたが、絞り優先でどうにか映りました。今後はプロジェクターを使い大画面で映写を楽しみたいと思います』



地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選

その5

文：矢部 征男 さん

い で と い わ や 出戸の岩屋さま

出戸村南西に、虚空蔵尊・不動明王・毘沙門天の仏像3体が安置される『岩屋さま』と呼ばれる洞窟があります。今から500年ほど前、伊勢外宮生まれの真海しんかいという修行僧がやってきました。また、村にはもう1人、出羽国長井生まれの伴越後ばんえちごという19歳になる修行僧が住んでおり、2人は、食料である十穀を断つ、厳しい修行僧でした。ちょうどそのころ、上野尻には阿波国生まれの筈暁あわのくに せんぎょうという仏師がおり、ある名僧から『適当な岩窟を見つけて虚空蔵尊を彫ってまつ祀るように』と命じられ、全国各地を探し歩いているところでした。出戸村にいる真海と伴越後のことを知った筈暁は早速仏像造りに取り掛かり、2カ月後には立派な3体の仏像を彫りあげました。虚空蔵さまは知恵を授けるとされる仏であり、村人も深く信仰するようになりました。

それから200年ほど後、越後国横越生まれの直応えちごのくによごし じきおうという修行僧がきてこの岩屋に住み、17年間も修行を続けました。やがて直応はここに御堂を建てようと思い協力してくれる人を探しました。幸い援助者が現れ、ついに御堂を完成させると、中町の修験大宝院にお願いして盛大なお祝いを行ったのでした。直応はこの時「御賓頭おびんずる盧様」を寄進しています。以来、この御堂はますます大勢の参詣者で賑わったといわれています。

今も出戸地区では、毎年9月13日を縁日としてこの御堂で祭礼を開催し、500年間続いてきた信仰を守り続けています。



▲今も岩屋にある3体の仏像



▲岩屋に続く石段

今月の表紙

今月の表紙は8月15日に行われた「野沢ふるさと夏まつり」から。当日は、盆踊りによる「こゆりちゃん音頭」が披露されました。かわいらしい子どもたちの姿に拍手喝采、大盛り上がりでした。

※10ページに関連記事

編集後記

今は8月に行われている本町の成人式ですが、実は、昔は1月に行われていました。なぜ8月になったのか調べてみたところ、積雪や服装、帰省者などの問題で8月が良いという意見が増えたからだというです。当時の新成人や関係者を対象としたアンケート調査では、8月を希望する人が7割を超え、初めて夏に挙行した昭和47年の成人式は近年にない盛況ぶりだったとか。今では、この夏の成人式も本町の魅力のひとつなのかもしれませんね。

長谷川祐一